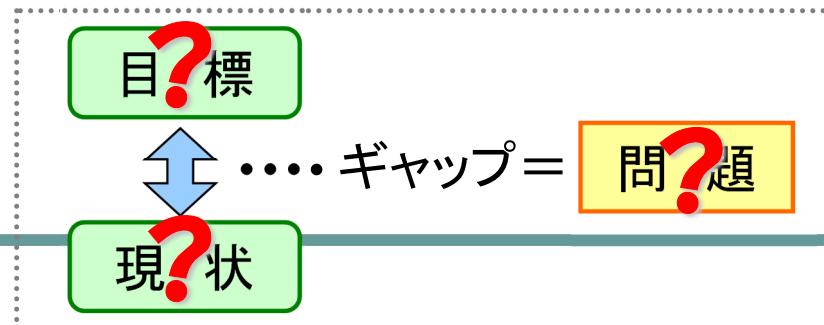


2. 問題発見の障害

適切に問題を発見できない
理由を考える

2. 問題発見の障害

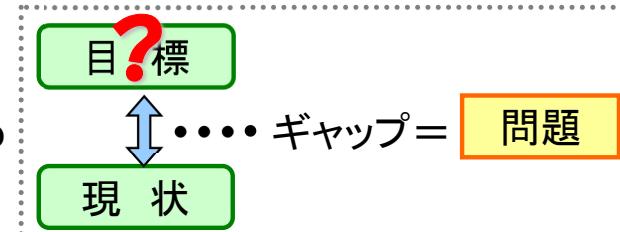
- 問題を発見できない4つの原因
 1. 問題定義において「目標」が不明確
 - 「目標」をイメージできない、「目標」設定が誤っている
 2. 問題定義において「現状」が不明確
 - 「現状」の認識・分析力が低く、正確に把握できない
 3. 問題定義において「ギャップ」が不明確
 - 「問題」の構造・本質を解明できない
 4. 問題定義の「構造」そのものが不明確
 - 問題の本質を捉えず、安易に実行可能な対策を行う



2. 問題発見の障害

1. 問題定義の前提「目標」が不明確

- 「目標」をイメージできない、「目標」設定が誤っている
- 例：さて、何でしょう？



TAE CAT

- 「質問の意味がわからない」？
- 「最初がHで2つ目はAだ。つまり、HとAの出来損ないだ」？
- 「最初がAで2つ目はHだ。つまり、AとHの出来損ないだ」？
- 「両方ともAの書き間違いだ。つまり、どちらも頭がくっついてない」？
- 「両方ともHの書き間違いだ。つまり、どちらも棒がまっすぐじゃない」？



「目標」が不明確なので、何を問題とするかも様々考えられる

2. 問題発見の障害

- 例題:さて、なんでしょう？

TAE CAT

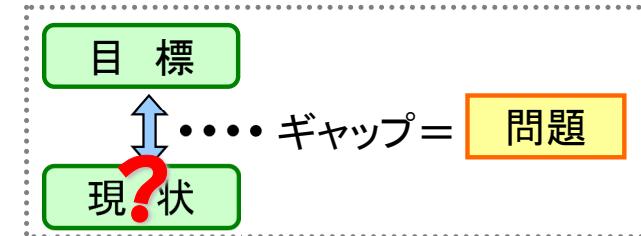
- では、問題定義の前提「目標」を明確にした上で考えるとどうなるか？

- **TAE CAT** in the hat → **THE CAT in the hat**
(帽子をかぶった猫)
- **TAE CAT** 医学・生物学 → **TAE(肝動脈塞栓療法)** など
CHT(コリントラんスポーター) など
- **Peace in TAE CAT** → **Peace in THE CHT**
(チッタゴン丘陵和平協定)
- etc.

2. 問題発見の障害

2. 問題定義の前提「現状」が不明確

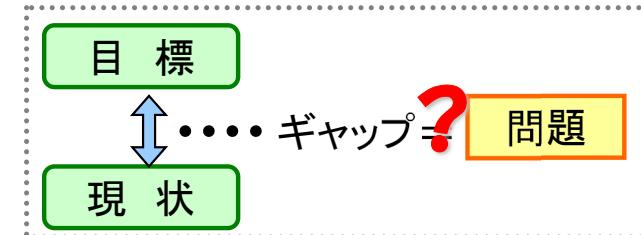
- 「現状」の認識・分析力が低く、正確に把握できない
- 「現状」を直視しない・できない理由
 - 問題の隠蔽 … 知られるとまずい
 - 政治的圧力(上司・部下の関係、パワハラ)
 - 現状認識が主観的で、客観的には曖昧
 - 問題の先送り、問題の回避思考
 - … 本質的な問題には直面したくない、難しすぎて考えたくない
 - スキルの欠如 … 現状を認識するための知識・技能が欠けている



2. 問題発見の障害

3. 問題定義の前提「ギャップ」が不明確

- 「問題」の構造・本質を解明できない
- 複数の原因の構造化・優先順位付けができない



例) シェアが下がっている

⇒ シェアをあげろ

例) ビリヤード, ダーツ, もぐらたたきなどの遊技

⇒ 気合いだ! 反射神経だ! ともかく, やってみろ!

ルールやシステム, メカニズムなどを理解しないと勝てない

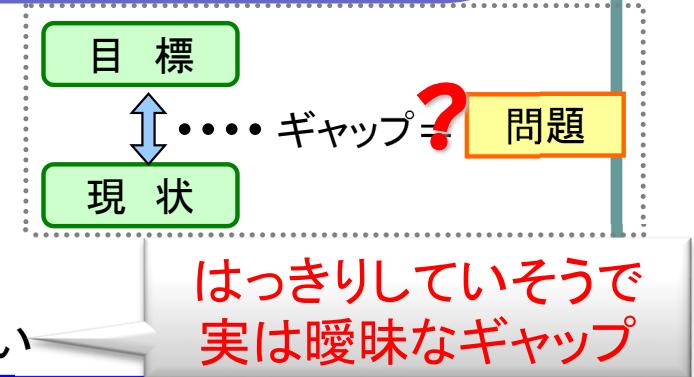
例) 市場の変化(特定品市場から多種多様な製品市場へ)

⇒ 低価格品から高付加価値製品まで全てに対応しようとし, 全てに対応できなくなった. 自社の強み・弱みを考えない

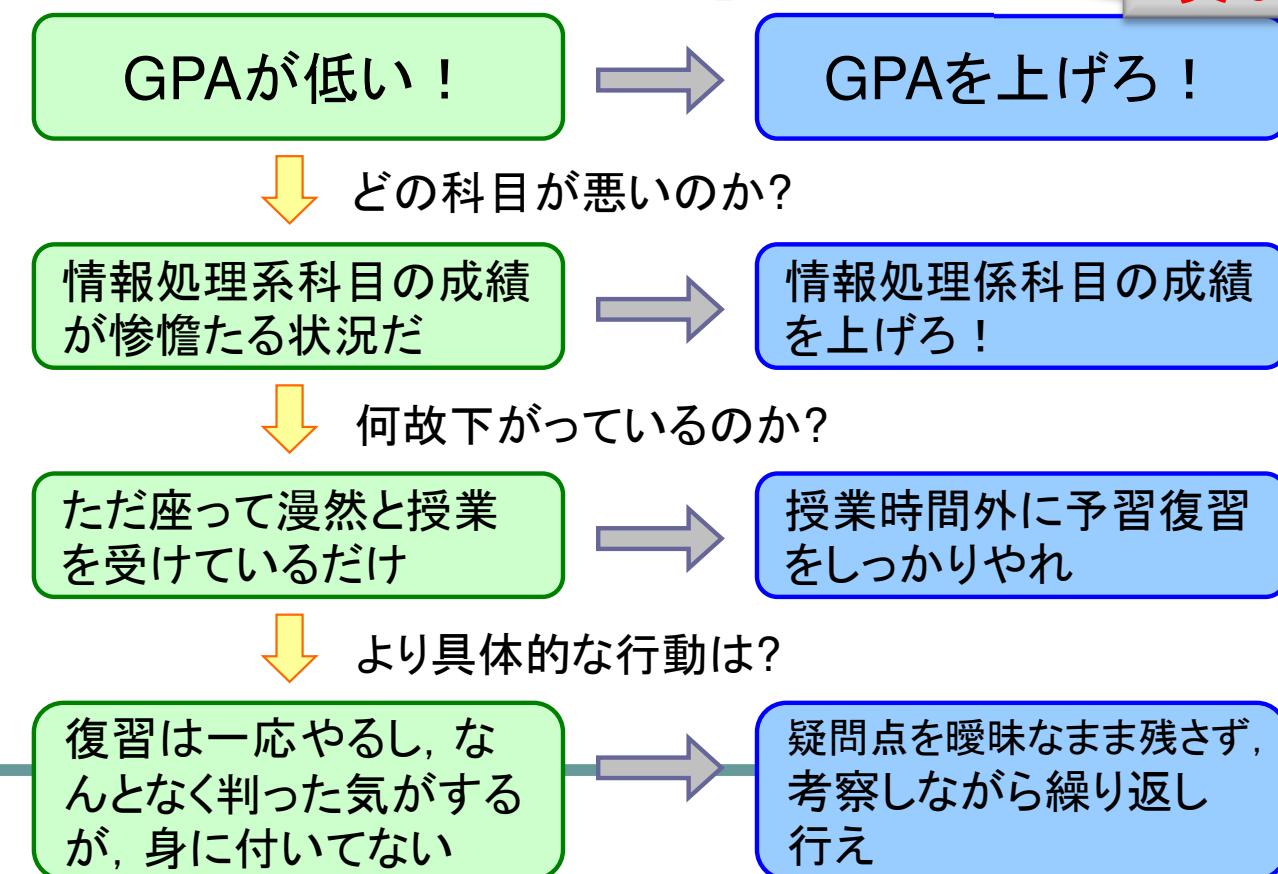
(cf. SWOT分析, Strengths, Weaknesses, Opportunities, Threats)

2. 問題発見の障害

- 曖昧なギャップを明確にする
 - 例) 学業成績が芳しくないので、成績を上げたい
〔現状: GPA1.5〕←ギャップ→〔目標: GPA3〕
ギャップ(GPA差1.5)を埋めればよい

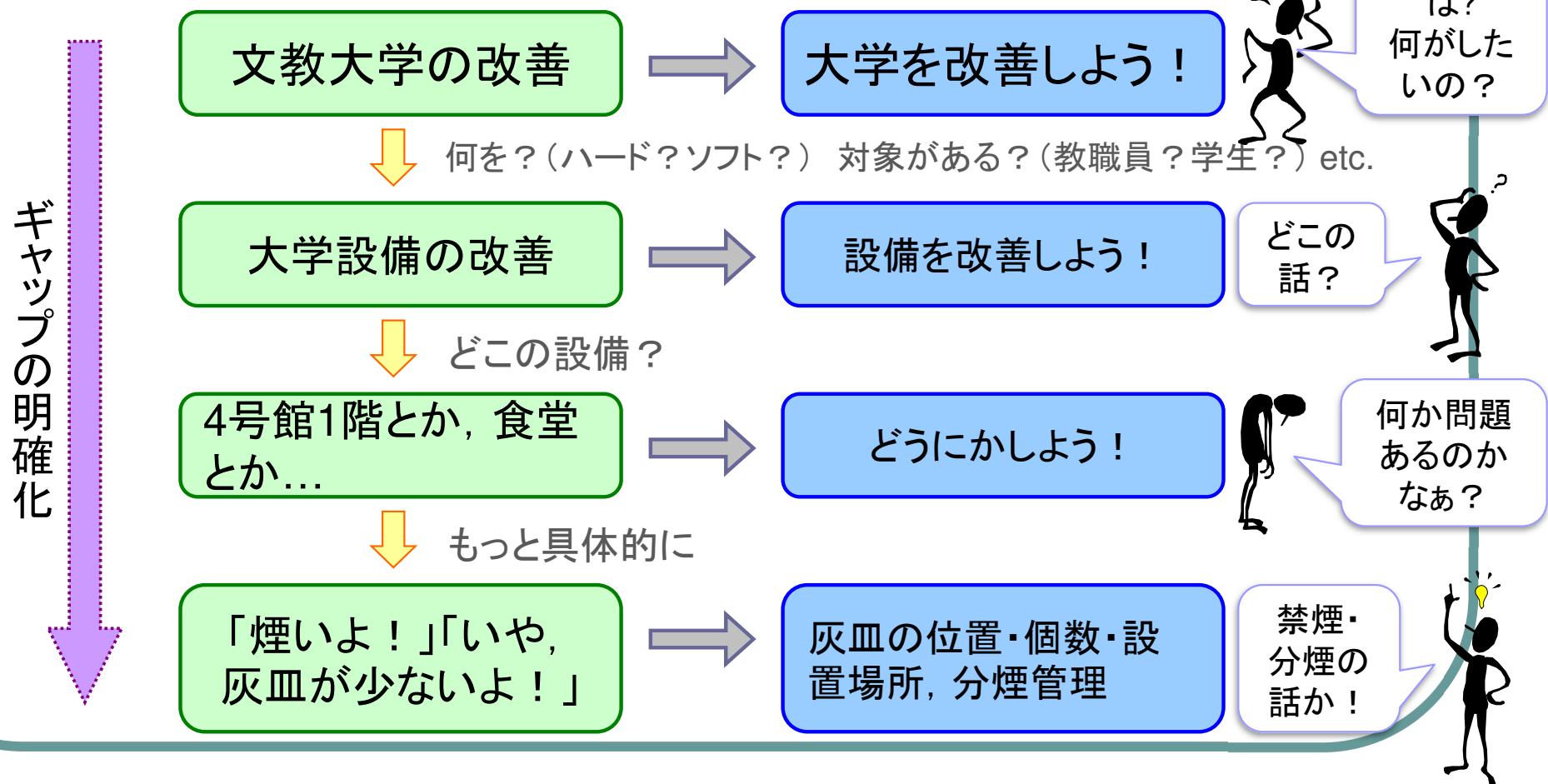


ギャップの明確化



2. 問題発見の障害

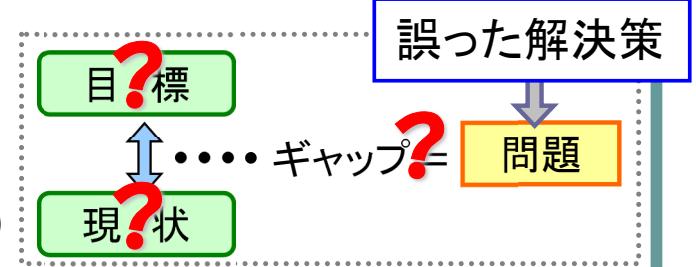
- 曖昧なギャップを明確にする
 - 例) 文教大学の改善 ← この授業で、学生が取りあげたがるテーマの1つ



2. 問題発見の障害

4. 問題定義の「構造」そのものが不明確

- 問題の本質を捉えず、安易に実行可能な対策を行う（「目標」も「現状」も考えず、従って「ギャップ」も不明）



- 例) あるサッカーチーム：「全国大会に行くぞー！」

⇒ キャプテン：「各自ができる事をやろう！」

A君：「リフティングの練習だー！」

B君：「ドリブルの練習だー！」

C君：「パスの練習だー！」

D君：「走りこみだー！」

E君：「シュート力アップだー！」

.....

目標は？

- 全国優勝！
- 全国大会に出場できれば...
- etc.

現状は？

- 自チームはどれだけ強いの？
- 自チームの強み・弱みは？
- 他チームはどれだけ強いの？
- 全国のレベルは？
- etc.

Cf.「彼ヲ知リ己ヲ知レバ、百戦シテ殆ウカラズ」

『孫子 謀攻篇』